保 証 書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

持込修理

ケトル	品 番　NU-K08H1
★お客様お名前　　様	
★ご住所　〒　　★電話番号（　　）　－	

保証期間 ★お買上げ日　　年　　月　　日から 本　体 …… 1年間	★取扱販売店名, 住所, 電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   - ロ. お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   - ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   - ホ. 本書の提示がない場合。
   - ヘ. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   - ト. 消耗部品の交換、仕様変更 } 等
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。　Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、10ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

株式会社ヤマダホールディングス

【ヤマダオリジナル商品サポートセンター】TEL 0120-258-260（無料）

〒370-0841　群馬県高崎市栄町1番1号

受付け時間：午前10時～午後7時（元日のみ休日）

Y14

見本

取扱説明書

保証書付（裏表紙）

一般家庭用

（業務用としては使用しないでください）

ケトル
品番：NU-K08H1

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
  特に1～3ページの「**安全上のご注意**」を必ずお読みください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
  This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

安全上のご注意……1~3
知っておいていただきたいこと……4
各部のなまえ……5
使いかた……6~7
お手入れのしかた……8
故障かな？と思ったら……9
仕 様……9
点 検……10
修理サービスについて……10
保証書……裏表紙

取扱説明書（保証書付）·本体には商品の色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

SERIE

NOIR

安全上のご注意 必ずお守りください

3ページへつづく

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

禁止	⃠は、してはいけない「禁止」の内容です。	一般的な禁止 / 分解禁止 / 接触禁止 / ぬれ手禁止 / 水ぬれ禁止
強制	❗は、必ず実行していただく「強制」の内容です。	必ず行う / 電源プラグを抜く

⚠ 警 告

❗ 異常・故障時には、ただちに使用を中止する

使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。

＜異常・故障例＞

- 本体が変形したり、異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。
- 電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 異常なにおい・音・振動がする。
- ビリビリと電気を感じる。
- 本体から水漏れする。
- 沸いたのに電源が切れない。

※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」に点検、修理を依頼してください。

電源コードや電源プラグが傷ついたり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因となります。

本体接続部・電源スタンド接続部・電源プラグをなめさせない

お子さまが誤ってなめないように注意してください。感電・けがの原因となります。

子供や不慣れなかただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない

感電・やけど・けがの原因となります。

本体接続部や電源スタンド接続部（金属部）にピンや針金などの金属物など、異物を入れない

感電・けが・故障・破損の原因となります。

満水目盛以上の水を入れない

湯がふきこぼれ、やけどのおそれがあります。

本体を転倒させない

湯が流れ出て、やけどのおそれがあります。

⚠ 警 告

不安定な場所、燃えやすいものの近くや、本体周囲に熱がこもる環境で使用しない

熱に弱いテーブルクロス・敷物などの上や、じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上では使わないでください。火災・やけどの原因となります。

専用の電源スタンド以外は使用しない。また、電源スタンドを他の機器に使用しない

故障・発火の原因となります。

水以外のものを入れない

牛乳・コーヒー・お茶・酒・レトルト食品などを入れて使用しないでください。異物がつまったり、焦げつきや内容器の変色、ふき出してやけどのおそれがあります。

注ぎ口・蒸気口に手を触れない

接触禁止

やけどをするおそれがあります。特に乳幼児にはさわらせないよう、ご注意ください。

本体・電源スタンドを水につけたり、水をかけたりしない

水ぬれ禁止

発火・ショート・感電・故障の原因となります。

本製品は必ず屋内で使用する

本製品は屋内用です。屋外でお使いになると故障・破損・けがの原因となります。

フタを確実に取り付ける

自動OFF機能がはたらかず、沸騰しても電源が切れないため、火災の原因となります。注ぐときにフタが外れ、やけどのおそれがあります。

電源は交流100V・定格15Aのコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。

フタを勢いよく取り付けない

湯がふきこぼれ、やけどのおそれがあります。

蒸気口にふきんなどを置かない

蒸気や湯がふきこぼれ、やけどのおそれがあります。

保冷用（氷を入れるなど）には使用しない

内蔵の電気部品に水や露がつき、感電・故障の原因となります。

絶対に改造、分解をしない

分解禁止

改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

ぬれた手で電源プラグを抜きさしをしない

ぬれ手禁止

ショート・感電・けがの原因となります。

直火(ガス台など)や電気ヒーター、IH調理器などの上にのせない、沸かさない

火災の原因となります。

業務用として使用しない

本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないでください。

電源コードや電源プラグは乱暴に取り扱わない

電源コードまたは、電源プラグを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねて使用する、などをしない。

感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警 告

電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む
さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。

電源プラグは清潔にする
電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布で拭きとってください。発煙・発火・火災の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く
電源プラグを抜く
感電・ショート・発火・火災の原因となります。

お手入れ・持ち運び・保管の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
電源プラグを抜く
感電・やけど・けが・発火・火災・故障の原因となります。

⚠ 注 意

湯沸かし中に移動したり、お湯を注いだり、注ぎ足したりしない
お湯が飛びちり、やけどの原因となります。

空だきはしない
水が入っていないときは、電源を入れないでください。故障のおそれがあります。

壁や家具の近くでは使用しない
キッチン用収納棚などをお使いのときは、中に蒸気がこもらないようにする。蒸気により、壁や家具を傷める原因となります。

落としたり、ぶつけたり、強い衝撃をあたえない
けが・事故・発火・故障の原因となります。

電源レバーを押し続けて、無理やり沸騰を継続させない
やけど・故障の原因となります。

水や火気の近くで使用しない
感電・漏電・故障や製品の変形・変色の原因となります。

フタを取り外すときは、出る蒸気に触れない
接触禁止
やけどの原因となります。

湯沸かし中や湯沸かし直後は、しばらく高温部に触れない
接触禁止
やけどの原因となります。

本体を持ち運ぶときは、ハンドルを持って持ち運ぶ
フタや本体を持って持ち運ぶと、落としたりフタが外れて、やけど・けが・故障の原因となります。

電源プラグを抜きさしするときは、電源レバーを「切(OFF)」の位置にする
やけど・けがの原因となります。

お手入れを行うときは、必ず電源プラグを抜き、冷えてから行う
高温部に触れると、やけど・けがの原因となります。

残り湯は、注ぎ口よりすてる
注ぎ口以外からすてるとお湯や蒸気があたり、やけどの原因となります。

電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
電源プラグを抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。

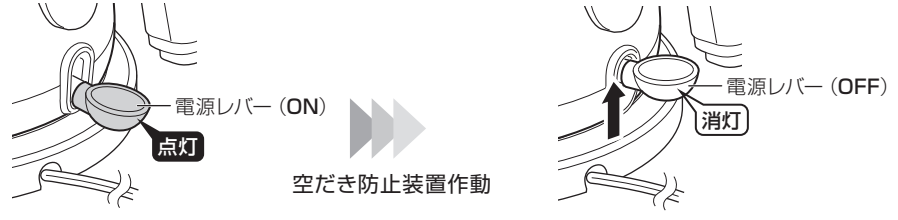
知っておいていただきたいこと

- はじめてお使いになるときや長時間使用しなかったときは、お手入れを行ってからお使いください。
- 使用後に、「カチカチ」と音がすることがありますが、熱せられた部品が冷めるときに発生する音です。故障ではありません。
- 本体が電源スタンドにセットされていない場合、安全機構のはたらきにより電源レバーは「ON」の位置で止まりません。
- 本製品には保温機能がありません。必要なときに必要な量を沸かしてください。
- 保管するときは、乾いた布などで水分を拭きとり、よく乾燥させてから保管してください。

空だき防止装置について

- 本製品には、過熱による故障を防ぐ空だき防止装置が内蔵されています。空だき防止装置がはたらくと、電源レバーが上がり、自動で電源が切れます。

空だき防止装置

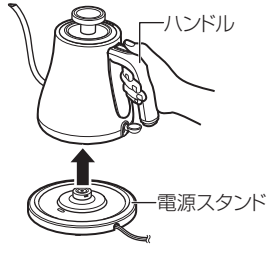


- 空だき防止装置がはたらくと、本体・電源スタンドの温度が下がるまで電源を入れることができません。

空だき防止装置がはたらいたときの処置のしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 本体のハンドルを持ち、電源スタンドから取り外す



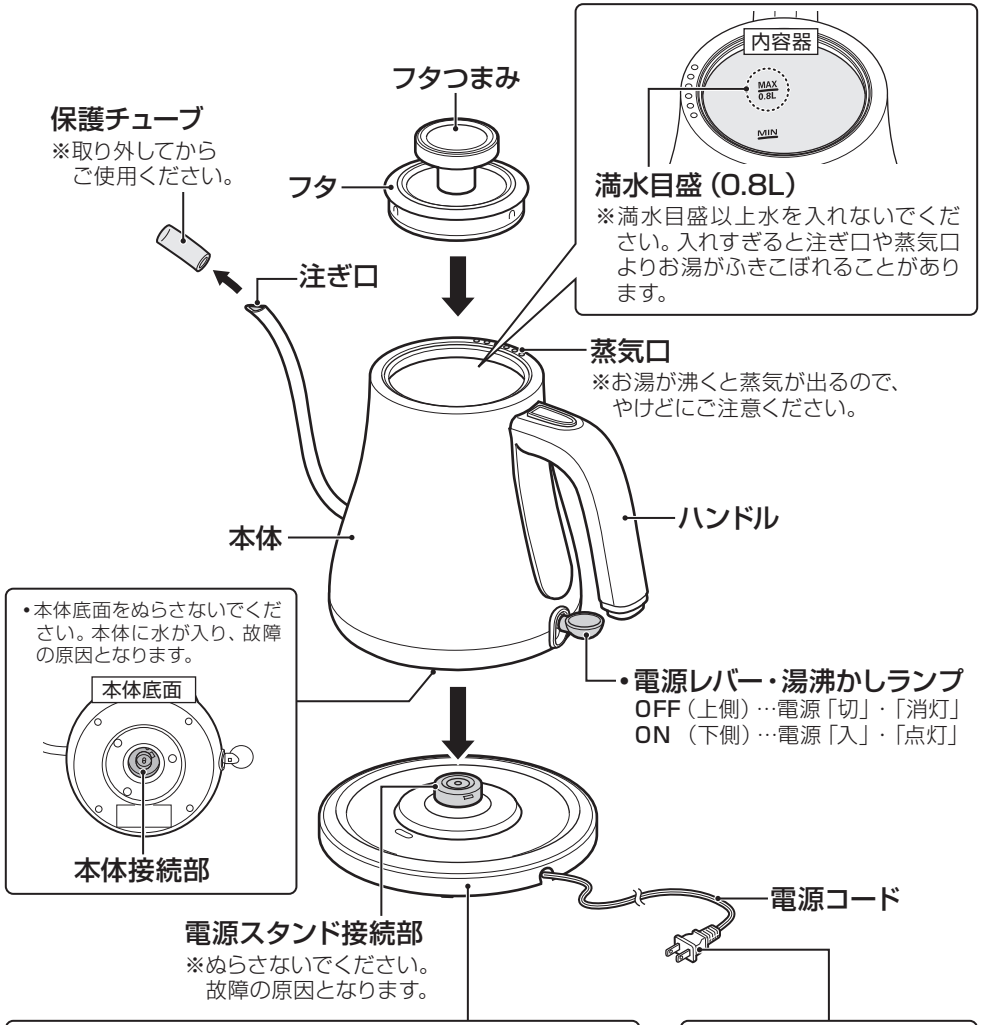
使用上のご注意
- 本体・電源スタンドが熱くなっていますので、注意して取り外してください。
- 取り外した本体は、熱に弱いテーブルクロス・敷物などの上に置かないでください。

3 本体・電源スタンドを冷やす
※室温により冷える時間が長くなることがあります。

4 本体に水を入れ、お湯を沸かす
- お湯の沸かしかたは、「**使いかた**（6ページ）」をご参照ください。

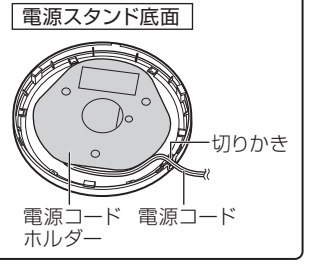
各部のなまえ

●本製品は、ケトル本体と電源スタンドのセットになっています。



電源スタンド

- 専用電源スタンド以外は、使用しないでください。
- 電源コードを電源スタンド底面の電源コードホルダーに巻きつけて、必要な長さに調節してください。
- 電源スタンドは安定した所に置き、電源コードを電気スタンドの切りかきにセットしてください。正しくセットされていない場合、電源スタンドが不安定な状態になり、転倒の原因となります。



電源プラグ

交流100V･定格15Aのコンセントをご使用ください。
使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

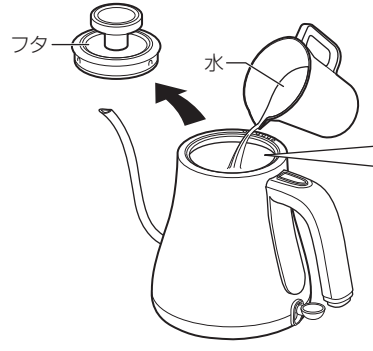
使いかた

7ページへつづく

● はじめてお使いになるときや長時間使用しなかったときは、お手入れを行ってからお使いください。
「**お手入れのしかた**（☞8 ページ）」をご参照ください。

1 フタを開け、水を入れる

- 水は内容器の目盛「MIN～MAX 0.8L」の範囲で、必要な量を入れてください。
※水が少なすぎると空だき防止装置がはたらく場合があります。
☞「**空だき防止装置について**（4ページ）」参照
- 水道の蛇口より、直接給水しないでください。



MAX 0.8L …… 満水目盛
※この線以上に水を入れないでください。

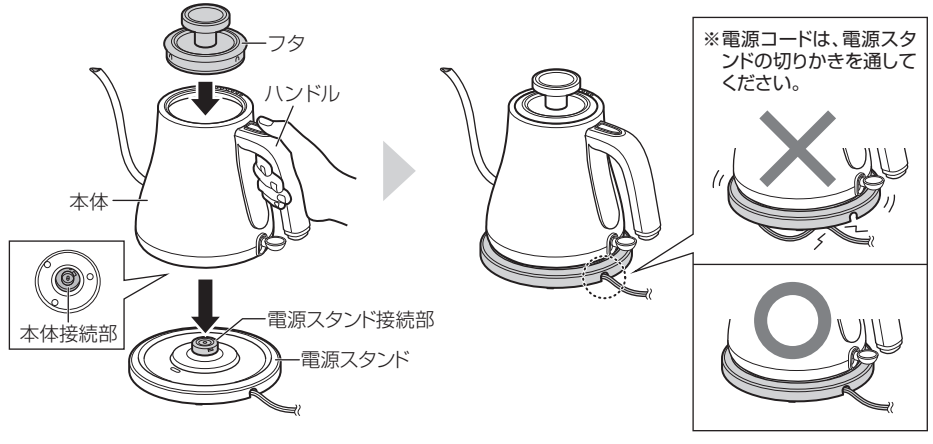
MIN …… 最低量目盛（280mL）
※この線以上に水を入れてください。

⚠ 警 告

- 牛乳・コーヒー・お茶・酒・レトルト食品など、水以外のものを入れないでください。
- 満水目盛以上の水を入れないでください。湯がふきこぼれ、やけどのおそれがあります。
- フタを確実に取り付けてください。自動OFF機能がはたらかず、沸騰しても電源が切れないため、火災の原因となります。注ぐときにフタが外れ、やけどのおそれがあります。

2 フタを閉め、本体を電源スタンドにセットする

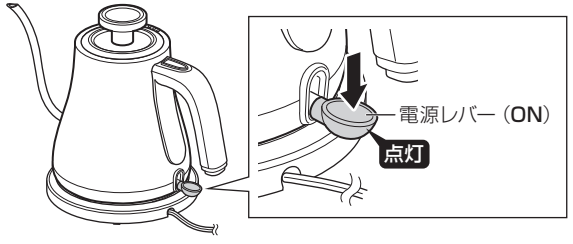
- 本体のハンドルを持ち、本体接続部と電源スタンド接続部を合わせてセットしてください。
※接続部に異物や汚れが付着している場合は、お手入れを行ってください。
☞「**お手入れのしかた**（8ページ）」参照
- 電源スタンドは電源コードの挟み込みや傾きがないことを確認し、安定したところに置いてください。



使いかた

3 電源プラグをコンセントにさし込み、電源レバーを「ON」の位置に押し下げる

- 湯沸かしランプが点灯し、電源が入ります。
- 湯沸かしの途中で電源を切るときは、電源レバーを「OFF」の位置に引き上げてください。湯沸かしランプが消灯し、電源が切れます。
（湯沸かし中に、本体を電源スタンドから取り外すと、自動で電源レバーが上がります）



沸き上がり時間の目安
（水道水水温20℃・室温20℃）

満水時　約4分30秒

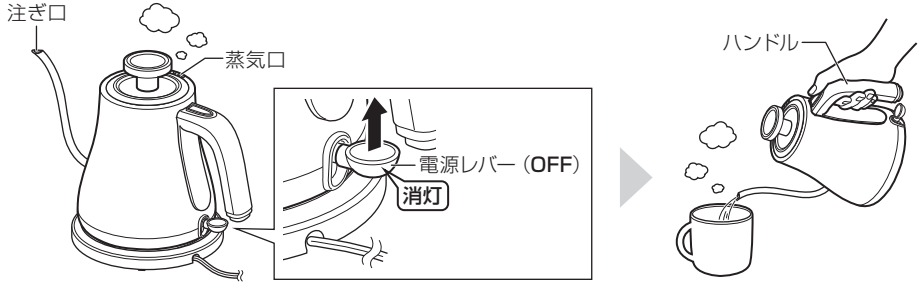
⚠ 注 意

- 電源レバーを押し続けて、無理やり沸騰を継続させないでください。やけど・故障の原因となります。
- 湯沸かし中に移動したり、お湯を注いだり、注ぎ足したりしないでください。お湯が飛びちり、やけどの原因となります。
- 湯沸かし中や湯沸かし直後は、しばらく本体など高温部に触れないでください。やけどの原因となります。

4 電源が切れたら本体を電源スタンドから取り外し、お湯を注ぐ

- お湯が沸くと自動で電源レバーが上がり、湯沸かしランプが消灯し電源が切れます。
- 蒸気口から蒸気が出なくなったことを確認してからお湯を注いでください。
- お湯を注ぐときは、本体のハンドルを持って注いでください。

※お湯は本体を傾けすぎないように、ゆっくりと注いでください。
※取り外した本体は、熱に弱いテーブルクロス・敷物などの上に置かないでください。



⚠ 警 告

- 注ぎ口・蒸気口に手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。特に乳幼児にはさわらせないよう、ご注意ください。

5 使用後は、電源プラグをコンセントから抜く

- 残り湯がある場合、注ぎ口よりすててください。

※水の注ぎ足しをくり返して使用すると、水あかが付着したり、お湯が変質する原因となります。
※長時間使用しないときは、内容器を空にしてください。残り湯を放置すると、内容器が変色・腐食する原因となります。

⚠ 注 意

- 残り湯は、注ぎ口よりすててください。注ぎ口以外からすてるとお湯や蒸気があたり、やけどの原因となります。

お手入れのしかた

⚠ 警 告

- 本体・電源スタンドを水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしないでください。発火・ショート・感電・故障の原因となります。

⚠ 注 意

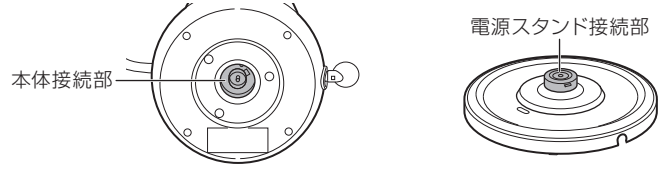
- お手入れを行うときは、必ず電源プラグを抜き、冷えてから行ってください。高温部に触れると、やけど・けがの原因となります。

- お手入れの際は、金属製のたわし・シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などを使用しないでください。
- 水やお湯が残ったまま放置しないでください。内容器が変色・腐食する原因となります。
- 保管するときは、乾いた布などで水分を拭きとり、よく乾燥させてから保管してください。

本体（外側）・フタ・電源スタンド・電源プラグのお手入れ

※本体底部・電源スタンドには水をかけないでください。感電・ショート・発火・故障の原因となります。

- かたくしぼった柔らかい布やキッチンペーパーで付着した水や汚れを拭きとってください。
- 汚れが落ちにくいときは、水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭きとってください。
- 本体接続部・電源スタンド接続部に付着した異物や汚れは、乾いた柔らかい布やキッチンペーパーで拭きとってください。
- 電源プラグは、刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は乾いた布で拭きとってください。



本体底面　　電源スタンド

内容器のお手入れ

- 内容器に少量の水を入れてコップ洗い用など柄のついたスポンジで洗い、水でよくすすいでください。すすいだあとは乾燥させてください。

※ミネラルウォーターやアルカリ整水器の水は、本体内部が変色したり、白い浮遊物ができやすくなります。衛生上問題ありませんが、汚れが目立ってきましたらクエン酸を使用し、定期的にお手入れを行ってください。
（使用される水質、湯沸かし回数により汚れやすさや汚れの状態は違います）

クエン酸洗浄のしかた

1 内容器にクエン酸（市販品）を30g入れ、水を満水目盛まで入れて混ぜ合わせる

※水は満水目盛以上に入れないでください。湯がふきこぼれ、やけどのおそれがあります。

2 フタを閉め、電源スタンドにセットし、お湯を沸かす

3 お湯が沸いたら、約2時間放置する

4 お湯をすて、水で十分すすぐ

5 水を満水目盛まで入れ、お湯を沸かしたあと、沸騰したお湯をすてる

※クエン酸のにおいをとるために水だけで沸かし、フタをつけた状態でお湯をすててください。
※クエン酸洗浄を行っても、内容器の変色はとれません。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

症　状	確認してください	処置の方法	参照ページ
お湯が沸かない 電源が入らない 湯沸かしランプが点灯しない	電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実にさし込んでください。	7
	本体が電源スタンドに正しくセットされていますか？	本体を電源スタンドに正しくセットしてください。	6
	電源レバーが「ON」の位置になっていますか？	電源レバーを「ON」の位置にしてください。	7
	本体接続部や電源スタンド接続部に異物や汚れが付着していませんか？	電源プラグを抜き、冷えてから接続部のお手入れを行ってください。	8
	空だき防止装置がはたらいていませんか？	本体・電源スタンドが冷えてからお湯を沸かしてください。	4
注ぎ口や蒸気口からお湯が自然に出る	満水目盛以上の水を入れて、お湯を沸かしていませんか？	水量を満水目盛以下に減らしてください。	5･6
湯沸かし時に音がする	―――	湯沸かし中に発生する気泡がはじける音です。故障ではありません。	–
湯沸かし時の音が大きくなる	内容器が汚れてくると、沸騰時の音が大きくなります。	クエン酸を使用し、内容器のお手入れを行ってください。	8
お湯がにおう	水道水に含まれる消毒用塩素が残ることがあります。	気になる場合は、市販の浄水器などをご使用ください。	–
	はじめてご使用になるときは、においがすることがあります。	ご使用前に、お手入れを行ってください。ご使用にともない少なくなります。	4･8
お湯に白いものが浮く	ミネラル分の多い水(特にヨーロッパ産などのミネラルウォーター)は、加熱されたミネラル分が結晶になり現われることがありますが有害ではありません。	クエン酸を使用し、内容器のお手入れを行ってください。	8
使用後しばらくすると「カチカチ」という音がする	―――	熱せられた部品が、冷めるときに発生する音です。故障ではありません。	4

点検後、異常がある場合は、ご自分で修理しないでお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。詳しくは、10ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

仕 様

品　名	ケトル	品　番	NU-K08H1
電　源	交流 100V　50-60Hz	消費電力	1200 W
容　量	0.8 L	コードの長さ	約 0.75 m
外形寸法	幅 約 275 × 奥行き 約 160 × 高さ 約 215 mm（フタを含む）		
質　量	約 760 g（フタを含む）		

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
※この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

長年ご使用のケトルの点検を！

こんな症状はありませんか	●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。 ●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ●電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常なにおいや音、振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。	こんなときは	使用を中止してください。 故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買上げの販売店に点検をご相談ください。
こんなことはありませんか	電源プラグにホコリやゴミがたまっている。	→	ホコリやゴミを取り除いてください。

修理サービスについて

(1) 保証書
- この製品には、保証書がついています。
  保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。
  保証期間は、お買上げ日より本体 1 年間です。

(2) 修理を依頼されるとき
- 保証期間中は
  内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
  保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときは
  お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。
  修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3) 補修用性能部品の保有期間
このケトルの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後5年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについてご不明な場合
修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。
- ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダホールディングス

ヤマダオリジナル商品サポートセンターや保証書におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

- ヤマダオリジナル商品サポートセンターでお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマダホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。